

## 初期研修プログラムの紹介

国立病院機構 まつもと医療センター

### 治す医療から支える医療まで 研修は自由度が高く、主体性を尊重

教育研修部長・脳神経内科医長 福島 和広



#### まつもと医療センターの 初期臨床研修について

当センターは25の診療科と458病床を有し、小児から高齢者、超急性期から慢性期、さらに障がい児(者)、神経難病、血液疾患、結核診療にも対応するなど、幅広い専門医療も提供するケアミックス型病院です。こうした環境を活かし、実践重視の研修により幅広い基礎臨床力を着実に習得できます。初

期研修医の採用は例年2~3名のため、マンツーマン以上の手厚い指導体制により安心して研修に臨むことができます。診療科の垣根はなく、全科が同一の医局フロアを利用し、個人の机も科に関わらずランダムに配置されています。ローテーション中ではない科の医師にも気軽に相談ができる環境です。

研修医のためのセミナーを4~7月には毎週開催しています。各科

専門医による初期対応をテーマにしたシリーズ・レクチャー、座学だけでなく静脈採血、超音波のハンズオン、シミュレーターによる気管挿管など、技術的なレクチャーもあります。8月からは、症例プレゼンや他科コンサルのスキルを養うため、電子カルテを用いた日常症例の検討会を行っています。また、学会発表デビューを念頭にPowerPointによる症例検討会(月1回)も行っています。

#### プログラムの特徴について

当院の内科は、消化器、呼吸器、循環器、血液、神経、腎臓、糖尿病・内分泌内科といった広い専門領域と経験豊富な指導医が揃っており、内科研修プログラムが充実しています。また、外科は消化器外科と呼吸器外科のいずれか、または両方の研修が可能です。救急科は当院だけでなく、信州大学の救命救急センター(3次救急)でも研修ができます。日当直は月に3回で、上級医とベアを組んで2次救急の診療にあたります。2年間を通して経験するため、軽症から重症まで幅広い初期対応力を修得することができます。当院は研修医が多いため、本人の主体性が尊重できます。経験したい手技や症例があればフレキシブルに対応でき、選択科の期間や年度途

中での変更などの融通も利きやすいです。

#### 読者へのメッセージ

今は情報や選択肢が豊富に提示されている時代ですので、研修先を選ぶのは相当に悩ましいだろうと想像します。研修先やキャリアプランは重要ですが、たまたま縁のあった環境にとりあえず腰を据えて、そこで身につけられる物は選り好みなく何でも身につけていく事も結構大切かと感じます。違った分野に興味湧くとか、気づいていなかった適性が開花することもあるかもしれません。松本市は自然が豊かで、登山やウィンタースポーツも盛んです。北アルプスを一望できる素晴らしい環境で、晴天率が高く湿度が低いなど、暮らしやすさも魅力です。当院では年休や日当直に対する代休の取得が徹底されており、メリハリのある働き方も出来ます。興味のある方は、ぜひ一度見学において下さい。



#### PROFILE

出身地: 長野県  
出身大学: 信州大学(1999年卒)  
宝 物: 家族

#### VOICE × 初期研修医

#### “自立”した研修で 確かな基礎力を獲得

初期研修医 1年目 葭山 稜

一人の医師として“自立”した実践経験を積むことができます。もちろん最初はわからないことも多く、手技への不安もありますが、すぐ傍で上の先生方による手厚いサポートと指導があるので安心です。自立して動ける研修によって基礎力をしっかり獲得できます。雄大な自然に囲まれた素晴らしい土地環境も魅力でしょう。



#### PROFILE

出身地: 兵庫県  
出身大学: 兵庫医科大学  
(2023年卒)  
宝 物: 健康  
座右の銘: 彰往察来

#### 着実に成長できる研修 オフも充実

初期研修医 2年目 荒川 正大

自由度が高く主体性のある研修ができます。何かあれば直ぐに先生方のフォローやポイントを押さえた指導をいただけるなど、着実にレベルアップできる教育体制です。救急科では自賠責診断書や診療情報提供書の書き方を学ぶことも特徴。オフには長野県の有名温泉巡りを楽しむなど充実した研修生活を送っています。



#### PROFILE

出身地: 大阪府  
出身大学: 東海大学  
(2022年卒)  
宝 物: ベット  
座右の銘: 一期一会



#### 国立病院機構 まつもと医療センター

住 所 〒 399-8701  
長野県松本市村井町南2-20-30  
WEB <https://matsumoto.hosp.go.jp>

病床数 **458** 床 診療科数 **25** 科

#### まつもと医療センターの特徴

長野県の中央、松本市南部に位置しており、信州まつもと空港、長野自動車道へのアクセスも良好です。東は美ヶ原・高ボッチ高原、西は乗鞍岳から穂高岳、常念岳、白馬岳まで北アルプスの名峰を一望できます。松本市の他、隣接する地域からも365日24時間、患者さんを受け入れる地域の中核病院です。

# PROGRAM

## 専門研修プログラム：救急

国立病院機構 熊本医療センター

### 全診療科が揃い、多彩な症例を経験 集学的治療や全身管理も習得できます

熊本医療センター 救命救急科部長・集中治療部長 櫻井 聖大



#### 熊本医療センターの救急科専門 研修プログラムについて

当院の救命救急センターでは“全職員をあげて24時間365日体制で断らない救命救急医療”を理念に、軽症から最重症、内因性疾患、外因性疾患と幅広い患者さんを受け入れています。精神科を含む全診療科が揃っているため、精神科関連の救急が多いことも特徴であり、通常の病院では、なかなか遭遇

しない症例も多数経験することができます。

また、重症患者さんに対するICUでの集学的治療や入院管理も行っているため、救急の初期診療から全身管理まで一貫した診療を学んでいただくことができます。

連携施設は熊本県内だけでなく、福岡県や関東方面にも複数あり、連携施設の選択肢が多いことも特徴です。

研修プログラムの3年間に一切無駄はなく、非常に濃密な経験を積んでいただくことができます。

#### 熊本医療センターの 研修環境について

当科では軽症から重症までの初期診療、さらに集学的治療、入院管理も行っており、軽症や中等症患者など、慢性期における入院管理能力も獲得することができます。また、全診療科が揃っているため、どのような症例が来ても各診療科に相談できる環境は、専攻医にとって心強く安心でしょう。

各種モニター機器、人工呼吸器管理、血液浄化装置、人工臓器など、医療設備が非常に充実していることも特徴で、MEと連携しながら迅速で高度な専門治療を提供しています。薬物中毒に対する血液吸着療法も多く実施しているなど、他病院ではなかなか経験できない治療もしっかり研鑽を積むことができます。

専攻医の意向や希望を尊重した研修環境であり、勤務体制は複数担当医制によりオン・オフが明確で、働きやすさも魅力でしょう。救急科は他科や多職種との連携が重要であり、コミュニケーションも非常に大切なことから、みなで助け合い、楽しく仕事ができる環境づくりにも注力するなど、高いモチベーションで仕事や研修ができる体制を整えています。

#### 初期研修医のみなさんへ

##### メッセージ

救急は医療の原点です。全ての患者さんが対象であり、救急科で研鑽を積むことで、あらゆる疾患への対応力、何事にも動じない強さと冷静な判断力、そして各診療科、多職種、救急隊、行政などとの連携も重要であるため、コミュニケーション能力も獲得することができます。

キャリアの幅も多彩で、救急医は全身管理ができるため、他科に進んでも大いに頼りにされ、活躍することができるでしょう。

救急医をめざす医師は、命を預かる強い“責任感”はもちろん“積極性”も大切です。難しい患者さんであっても積極的に診ていくことで、次に同じような患者さんに遭遇した際は対処できるようになり、それを繰り返していくことで救える命を救うことができる強い救急医になることができます。そして当科のプログラムでなら、3年間でどこでも活躍できる強い救急医になることができるでしょう。



#### PROFILE

出身地：福岡県  
出身大学：熊本大学(2006年卒)  
宝物：出会い  
座右の銘：なんくるないさ

#### VOICE × 専攻医

##### 救急医としての 幅広い実力を獲得

救急科 大本 寛之

当院での初期研修で、救急科の先生方の総合力や他科・多職種から大いに頼りにされる姿を見て「これが目指すべき医師像だ」と思い救急科に進みました。全科が揃っているため、多彩な救急患者さんを診ることができ、集中治療や全身管理も学べます。早くから実践的に学ぶ機会も多く、着実に成長できる環境です。



#### PROFILE

出身地：熊本県  
出身大学：長崎大学  
(2021年卒)  
宝物：自由  
座右の銘：臥薪嘗胆

##### 将来の進路に 迷っている方にも最適

救急科 杉野 大樹

救命病棟やICUなどで入院患者さんも診ることができ、全診療科が揃っているため、精神疾患や社会的問題を抱えた患者さんの診療も経験できます。当科でなら幅広い患者さんの初期対応、あらゆる問題解決力、集中治療や全身管理と、どこでも活躍できる総合力を修得できます。将来どの科に進むか迷っている方にも最適でしょう。



#### PROFILE

出身地：熊本県  
出身大学：熊本大学  
(2020年卒)  
宝物：探中です  
座右の銘：人間万事塞翁が馬



#### 国立病院機構 熊本医療センター

住所 〒860-0008  
熊本県熊本市中央区二の丸1-5  
WEB <https://kumamoto.hosp.go.jp>

病床数 **550** 床 診療科数 **34** 科

#### 熊本医療センターの特徴

当センターは、高度総合診療施設であり、国際医療協力や長寿医療の基幹施設でもある。がん、循環器、内分泌・代謝、感覚器、精神疾患、骨・運動器疾患、難病、救命救急医療の専門性を持ちつつ、骨髄移植をはじめとする高度先進医療にも力を入れ、さらに、クリティカルパスに積極的に取り組み、医療の質の向上に努めている。

# 専門研修プログラム：内科

国立病院機構 東近江総合医療センター

**これからの社会に必要とされ、貢献できる  
【高い専門性+総合力】のある内科医に**

東近江総合医療センター 内科診療部長 杉本 俊郎



## 東近江総合医療センターの内科 専門研修プログラムについて

地域に根差した中核病院である当院を基幹施設、そして滋賀医科大学附属病院を連携施設とした3年間（基幹施設1年間以上+連携施設1年間以上）による研修で、さまざまな環境に対応できる内科専門医を育成します。

プログラムでは一人ひとりの専攻医が目指す専門医像に合わせて、①【内科基本コース】②【消化器内科重点コース】と2つのコースを準備しています。

サブスペシャリティが未決定、または高度な総合内科専門医を目指す場合は①【内科基本コース】を選択。将来のサブスペシャリティとして消化器内科が決定している専攻医は、消化器病・消化器内視鏡専門医像に応じた研修ができる②【消化器内科重点コース】を選択。

いずれのコースを選択しても遅

滞なく内科専門医受験資格を得ることができ、卒後5～6年で内科専門医、その後消化器内科領域の専門医取得が可能です。

## 東近江総合医療センターの 研修環境について

当院には6つの内科系診療科があり、さらに、救急を通して内科領域全般の疾患が網羅できる体制にあります。主担当医として、外来（初診）、救急、入院から退院、通院まで幅広く経験していただくことで総合力を獲得することが可能です。

さらに「滋賀医科大学 地域医療教育研修拠点」として、院内に「総合内科学講座」が設置されていることも特徴です。滋賀医科大学の総合内科学講座の教官から常時指導を受けることができ、さらに連携施設である滋賀医科大学附属病院での、より専門性の高い研修によって、総合内科的な視点と内科

領域別の専門医の視点、両方を有した内科医になることができます。

また、2024年度から「医師の働き方改革」が始まりますが、特に睡眠不足は医療ミスを招きやすく、医療安全に関わる重大な問題です。しかも慢性的な睡眠不足は自覚しにくいので、専攻医の先生方が寝不足にならないよう心身共に健康に働ける環境に留意しています。

## 初期研修医のみなさんへ メッセージ

高い専門性を持ち、かつ幅広い領域にも対応できる総合力を有した内科医は、超高齢化が進展する日本社会、そして「医師の働き方改革」の要となるタスクシェアリングにも大きく貢献できるなど、これからの時代に求められている医師です。

東近江総合医療センターの内科専門研修は、NHOの地域中核病院としての側面と、滋賀医科大学



### PROFILE

出身地：滋賀県  
出身大学：滋賀医科大学（1989年卒）  
宝 物：特にごいません  
座右の銘：never give up,  
never surrender

附属病院の側面を有するユニークな研修体制が大きな特徴です。また、高い専門性と総合力を修得し教育機会を豊富に提供できる病院です。

当科でなら、一人で全ての外来にも対応できる総合力を獲得することができ、これからの日本社会と医療界に必要とされ、活躍できる内科医へと成長できるでしょう。興味のある方は、ぜひ一度見学に来てください。お待ちしております。

## VOICE × 専攻医

### 外来、救急、全科との連携で 専門性と総合力を幅広く経験

総合内科 山田 安希

他科の症例を学ぶことができる全診療科の医師が集まって行われる「朝カンファレンス」や、外来、救急、そして他科の症例・手技も経験できる自由度の高い研修が特徴。私の目指す内科医像であり、ロールモデルでもある、高い専門性と総合力を有した杉本先生（内科診療部長）の存在も大きな糧となっています。



### PROFILE

出身地：滋賀県  
出身大学：滋賀医科大学  
（2019年卒）  
宝 物：人との出会い  
座右の銘：一期一会

### 目指す内科医像を 実現できる研修環境

糖尿病・内分泌内科 中島 興

専攻医1年目から週に2回の外来を経験。外れない日は救急に入るなど、自分の目指す内科医像に合わせた自由度の高い研修が可能です。また、縦割り環境ではないため、一つの疾患を各専門科による多角的な視点で経験できることも特徴。尚且つ、早くから実践経験を積むことができるため、幅広い確かな実力を獲得できます。



### PROFILE

出身地：大阪府  
出身大学：滋賀医科大学  
（2019年卒）  
宝 物：人生  
座右の銘：来るもの拒まず、  
去るものを追わず



国立病院機構  
東近江総合医療センター

住 址 〒 527-8505  
滋賀県東近江市五智町 255  
W E B <https://higashiomi.hosp.go.jp>

病床数 **320** 床 診療科数 **26** 科

### 東近江総合医療センターの特徴

関西有数のスキルラボを開設し、超音波診断・内視鏡操作・IVR手技・心音呼吸音聴診といった研修が可能である。これらのシミュレーターを使用することで、研修医は実践的な研修を受けることができる。最高水準の医療提供と、医師の教育の両方に重きを置き、安心と信頼の提供と、次世代の医師たちの育成を重視している。